

小学校英語科設置校を拡充

市では、成田空港のある「国際空港都市」として英語教育に積極的に取り組んでいます。平成15年には国から「国際教育推進特区」に認定され、小学校における英語科設置および中学校英語科総授業時数の拡充が可能となっています。

成田地区の全小学校

全年年で英語科を設置

国の構造改革特区の特例措置を活用し、市では平成15年度から市立小学校に英語科を設置し、順次、設置学校の拡充を図ってきました。

英語科の設置により、明確化した目標のもとに系統立てた英語教育が推進されています。

今年度は、成田地区のすべての小学校で英語科を設置しています。

授業の流れ

Warm up

歌ったり、リズムに乗せ英語を言ったりして、活動の雰囲気盛り上げます



Presentation

学級担任と外国人英語講師が会話などをしながら、新たな活動内容を紹介し



Activity

ゲームなどの活動の中で、新しい文の練習をしたり、友だちや学級担任、外国人英語講師と英語でふれあいます



下総・大栄地区の小学校

英語活動の充実を

下総・大栄地区の9小学校では、1年生から6年生まで20分の英語活動を週2回実施しています。

学級担任と外国人英語講師のチームティーチングで、英語に慣れ親しむことを目標に、「聞く・話す」を中心にした活動が展開されています。

中学校の実践

小学校での英語教育の実践を踏まえて

今年度は研究開発学校として、3中学校(中台・西・成田中学校)で英語科総授業時数を拡充しています。

また、市では市立の全10中学校に1年を通して外国人英語講師を派遣しています。

小・中学校の教員が互いに授業参観をし、指導法の共通理解を図る機会を設けるなど、小学校での英語教育を中学校の英語教育に効果的につなげるよう努めています。

国際社会で共生していくための資質・能力・態度の育成を

小・中学校9年間の効果的な英語教育を進めることにより、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力を伸ばし、将来国際舞台で活躍できる人材を育成することを目指します。

成田市の未来を担う子どもたちに、国際社会で共生していくための資質・能力・態度が育成されることを期待されます。

※くわしくは教育指導課(☎20-1582)へ。